

独自分析レポート

**電気設備工事業 主要10社
過去3年における決算まとめ**

ヒューマンリソシア株式会社
「建設HR」編集部



目次

はじめに … 3

2019年度3月期決算 … 4

2020年度3月期決算 … 9

2021年度3月期決算 … 14

はじめに

「建設HR」編集部では、建設業界に特化した人材動向／市場動向／未来予測などの調査・分析から、独自調査レポートやマンスリーレポート、建設DXの最新ソリューションを紹介するセミナーなど、建設業界に関わるさまざまな情報発信を行っています。

本レポートでは、電気設備工事業の主要上場企業各10社の過去3年分の決算資料（決算短信）から建設市場動向をまとめました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、建設業関連各社の決算はどのように推移しているのか、来期（2022年3月期）についてはどのような状況になるのか、検討する参考資料としてご利用いただければ幸いです。

2019年度3月期決算

<電気設備工事業> 2019年度3月期第1四半期決算概況

■売上高堅調も、利益面では苦戦

増収増益3社、増収減益4社、減収減益3社となり、経常利益は10社中7社で前年同四半期を下回っており、利益面ではやや厳しい決算となっています（=図表1）。

【図表1 電気設備工事業主要10社2019年3月期の第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2019年第1四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
関電工	126,737	112.4%	6,747	91.4%	増収減益
きんでん	88,237	93.0%	3,204	98.2%	減収減益
コムシスホールディングス	82,270	128.7%	4,248	116.0%	増収増益
九電工	70,792	107.8%	3,565	71.0%	増収減益
協和エクシオ	61,898	105.7%	4,204	100.1%	増収増益
トーエネック	44,026	101.1%	470	44.5%	増収減益
ユアテック	40,956	97.7%	-431	-	減収減益
住友電設	34,402	102.2%	2,506	94.7%	増収減益
中電工	28,201	91.5%	1,083	39.4%	減収減益
日本電設工業	17,109	104.1%	-393	-	増収増益
合計	594,628	105.8%	25,203	83.9%	増収減益

<電気設備工事業> 2019年度3月期第2四半期決算概況

■ 増益企業が増加、収益性の改善が進む

増益企業が第1四半期の3社から5社に増加しており、収益性の改善が進みました（=図表2）。個別企業を見ると、コムシスホールディングスと協和エクシオは、それぞれ同業との経営統合を行うことを発表し、通期業績予想を売上高、利益ともに上方修正しています。

【図表2 電気設備工事業主要10社2019年3月期の第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2019年第2四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
関電工	257,976	111.4%	14,682	103.9%	増収増益
きんでん	207,748	98.3%	12,324	110.4%	減収増益
コムシスホールディングス	177,854	116.9%	11,232	112.5%	増収増益
九電工	165,111	103.6%	12,428	83.1%	増収減益
協和エクシオ	132,889	106.3%	8,932	92.0%	増収減益
トーエネック	98,399	103.9%	3,131	111.1%	増収増益
ユアテック	90,116	94.9%	1,765	46.7%	減収減益
住友電設	72,404	106.0%	5,723	104.6%	増収増益
中電工	62,975	98.6%	2,623	49.9%	減収減益
日本電設工業	47,831	99.3%	1,316	95.8%	減収減益
合計	1,313,303	105.1%	74,156	94.3%	増収減益

<電気設備工事業> 2019年度3月期第3四半期決算概況

■ 増収増益企業が増加、全体として好調に推移

関電工、きんでん、コムシスホールディングス、協和エクシオ、トーエネック、住友電設の6社が増収増益（第2四半期決算では5社）となり、全体として好調な決算となりました（=図表3）。

業界2位のきんでんは好調な決算を背景に、通期見通しを売上高、利益ともに上方修正しました。また、コムシスホールディングスと協和エクシオは、それぞれ同業子会社の経営統合を2018年10月に完了したことがプラス要因となり、大幅な増収増益になっています。

一方、ユアテックと中電工の2社は減収減益で、中電工は通期利益予想を下方修正しました。

【図表3 電気設備工事業主要10社2019年3月期の第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2019年第3四半期				傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
関電工	387,716	113.3%	19,967	106.0%	増収増益
きんでん	331,331	100.5%	22,216	105.2%	増収増益
コムシスホールディングス	304,303	124.9%	20,436	119.4%	増収増益
九電工	252,083	109.5%	19,282	92.6%	増収減益
協和エクシオ	247,625	125.8%	17,418	116.7%	増収増益
トーエネック	153,770	106.1%	5,885	127.9%	増収増益
ユアテック	138,764	95.2%	4,512	66.5%	減収減益
住友電設	111,243	106.8%	8,795	110.5%	増収増益
中電工	98,731	99.6%	4,660	56.0%	減収減益
日本電設工業	82,410	101.1%	4,539	99.2%	増収減益
合計	2,107,976	109.9%	127,710	102.1%	増収増益

<電気設備工事業> 2019年度3月期決算概況

■ 10社中9社が増収、うち7社が増収増益と非常に好調

電気設備工事業主要10社の19年3月期決算は、10社中9社が増収、うち7社が増収増益となっており、非常に好調な結果となりました（=図表4）。特に、コムシスホールディングスと協和エクシオは同業他社を経営統合したことがプラス要因となり、売上高、経常利益ともに2ケタ増の大幅な増加となっています。

2020年3月期の業績予想については10社すべてが増収、うち7社が増収増益を予想しており、全体的に好調な決算が続くと見込まれます。経営統合によるシナジー効果を狙うコムシスホールディングスと協和エクシオは、共に売上高の2ケタ増を予想しています。

【図表4 電気設備工事業主要10社の2019年3月期（連結）の実績と2020年3月期の予想値】

企業名	2019年3月期					2020年3月期業績予想			
	売上高 (百万円)	前期比	経常利益 (百万円)	前期比	傾向	売上高 (百万円)	前期比	経常利益 (百万円)	前期比
関電工	563,550	111.1%	30,795	102.5%	増収増益	600,000	106.5%	33,600	109.1%
きんでん	521,283	104.1%	42,491	105.2%	増収増益	560,000	107.4%	43,000	101.2%
コムシスホールディングス	481,783	126.8%	36,071	117.5%	増収増益	540,000	112.1%	38,500	106.7%
協和エクシオ	423,727	135.5%	33,431	126.4%	増収増益	495,000	116.8%	32,800	98.1%
九電工	408,143	113.1%	39,924	106.9%	増収増益	418,000	102.4%	40,700	101.9%
トーエネック	218,984	105.7%	10,146	113.8%	増収増益	220,000	100.5%	9,100	89.7%
ユアテック	204,054	95.7%	10,176	81.8%	減収減益	210,000	102.9%	7,400	72.7%
日本電設工業	182,464	102.0%	15,826	94.9%	増収減益	191,200	104.8%	16,400	103.6%
住友電設	157,016	107.0%	11,561	111.2%	増収増益	160,000	101.9%	11,700	101.2%
中電工	153,322	103.4%	8,921	76.0%	増収減益	158,000	103.1%	10,300	115.5%

2020年度3月期決算

<電気設備工事業> 2020年度3月期第1四半期決算概況

■ 10社中5社が増収増益、業界全体として好調

コムシスホールディングス、きんでん、九電工、トーエネック、中電工の5社が増収増益となりました（=図表5）。業界トップの関電工は減収増益ではありますが、売上高はほぼ横ばいです。主要10社合計においても増収増益となっており、業界全体として好調な決算だと言えます。赤字決算となったのはユアテックと日本電設工業の2社であり、ともに前年同四半期も赤字決算でした。

【図表5 電気設備工事業主要10社の2020年3月期第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第1四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	傾向
関電工	126,490	99.8%	7,022	111.3%	7,488	111.0%	4,781	111.0%	減収増益
コムシスホールディングス	111,906	136.0%	4,976	123.1%	5,511	129.7%	3,509	126.0%	増収増益
きんでん	110,159	124.8%	3,354	164.7%	4,319	134.8%	3,290	189.3%	増収増益
協和エクシオ	91,722	148.2%	3,982	102.4%	3,856	91.7%	2,344	85.9%	増収減益
九電工	83,747	118.3%	4,674	159.1%	5,399	151.4%	3,843	169.7%	増収増益
トーエネック	46,742	106.2%	2,150	388.1%	1,943	413.4%	2,361	996.2%	増収増益
ユアテック	38,709	94.5%	-1,414	-	-1,314	-	-1,215	-	減収減益
住友電設	34,336	99.8%	2,936	126.7%	3,136	125.1%	2,095	127.0%	減収増益
中電工	32,360	114.7%	-62	-	710	65.6%	742	110.3%	増収増益
日本電設工業	17,590	102.8%	-1,077	140.4%	-682	173.5%	-563	-	増収減益
合計	693,761	116.7%	27,618	132.7%	31,048	123.2%	21,187	136.4%	増収増益

<電気設備工事業> 2020年度3月期第2四半期決算概況

■ 10社すべてが増収、うち9社が増収増益で、業界全体として非常に好調

10社中9社が増収増益であり非常に好調な決算になっています（=図表6）。減益となったのはユアテック1社であり、情報システム関連費用の増加が減収の要因となっています。

また、第1四半期では赤字決算であったユアテックと日本電設工業は黒字に転換しており、赤字決算の企業はなくなっています。

【図表6 電気設備工事業主要10社の2020年3月期第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第2四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
関電工	278,993	8.1%	15,247	7.5%	15,768	7.4%	9,936	6.3%	増収増益
きんでん	251,425	21.0%	13,163	20.1%	14,185	15.1%	10,225	31.9%	増収増益
コムシスホールディングス	243,024	36.6%	12,959	18.1%	13,631	21.4%	8,855	24.2%	増収増益
協和エクシオ	212,302	59.8%	10,766	25.8%	10,658	19.3%	6,275	6.4%	増収増益
九電工	195,870	18.6%	13,820	27.0%	15,179	22.1%	10,471	30.7%	増収増益
トーエネック	102,867	4.5%	5,472	54.8%	5,006	59.9%	4,357	113.1%	増収増益
ユアテック	90,266	0.2%	524	-54.0%	791	-55.2%	185	-82.1%	増収減益
住友電設	76,608	5.8%	6,399	17.6%	6,727	17.5%	4,434	18.8%	増収増益
中電工	75,073	19.2%	2,619	85.7%	3,833	46.1%	2,947	91.9%	増収増益
日本電設工業	55,133	15.3%	1,621	80.9%	2,110	60.3%	1,022	150.5%	増収増益
合計	1,581,561	20.4%	80,969	19.1%	85,778	15.7%	58,707	25.2%	増収増益

<電気設備工事業> 2020年度3月期第3四半期決算概況

■ 9社が増収、高水準を維持

10社中9社が増収で、うち7社が前年同期比二桁の伸び率となりましたが、増収増益企業は第2四半期時点の9社から6社に減少しました（図表7）。ただし、減益となった4社のうち、コムシスホールディングス、協和エクシオ、中電工の3社は経常利益ベースでは前年同期を上回っており、また10社合計においても、経常利益ベースでは増益になっていることから、事業活動における収益性は高水準にあると考えられます。

経常利益ベースでも減益となったのはユアテック1社であり、情報システム関連費用の増加が要因として挙げています。

【図表7 電気設備工事業主要10社の2020年3月期第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2020年3月期第3四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期 増減率	
関電工	427,978	10.4%	21,881	14.0%	22,717	13.8%	14,467	13.6%	増収増益
きんでん	383,551	15.8%	24,837	23.4%	26,794	20.6%	18,980	30.2%	増収増益
コムシスホールディングス	374,769	23.2%	21,158	7.1%	22,219	8.7%	14,459	-20.9%	増収減益
協和エクシオ	333,739	34.8%	17,571	11.2%	17,955	3.1%	10,840	-63.5%	増収減益
九電工	279,872	11.0%	18,761	10.7%	21,057	9.2%	14,319	14.5%	増収増益
トーエネック	156,181	1.6%	8,001	24.2%	7,363	25.1%	5,880	152.6%	増収増益
ユアテック	137,815	-0.7%	1,747	-53.7%	2,235	-50.5%	1,000	-65.4%	減収減益
日本電設工業	91,865	11.5%	5,006	32.0%	5,873	29.4%	3,411	47.5%	増収増益
住友電設	118,729	6.7%	9,257	11.4%	9,763	11.0%	6,363	10.3%	増収増益
中電工	111,365	12.8%	3,641	32.0%	5,510	18.2%	2,176	-3.9%	増収減益
合計	2,415,864	14.6%	131,860	12.8%	141,486	10.8%	91,895	-11.1%	増収減益

<電気設備工事業> 2020年度3月期決算概況

■ 9社が増収、5社が増収増益となり好調な決算、2021年3月期については不透明要素が多い

売上高は9社が前年を上回り、5社が増収増益となっています（=図表8）。10社合計の売上高は前期比11.2%増、営業利益は7.7%増、経常利益は6.4%増となっています。純利益は8.7%減となっていますが、これは協和エクシオ、ユアテック、中電工の3社で前期に特別損益として計上した経営統合に伴う負ののれん発生益によるものであり、売上高・収益性ともに電気工事業界は好調な決算であったと言えます。

2021年3月期の業績予想については8社が未定としており、新型コロナウイルス感染症拡大が業績に与える影響について不透明要素が多いと考えられています（=図表9）。業績予想を発表した電気通信設備工事大手2社では、コムシスホールディングスは売上高が前期比0.2%減、営業利益同2.4%減、純利益同1.9%減、協和エクシオは売上高が同0.1%増、営業利益同2.9%増、純利益同35.2%増としており、比較的堅調に業績は推移すると予想しています。

【図表8 電気設備工事業主要10社の2020年3月期（連結）の実績】

企業名	2020年3月期								
	売上高 (百万円)	前年同期 増減率	営業利益 (百万円)	前年同期 増減率	経常利益 (百万円)	前年同期 増減率	純利益 (百万円)	前年同期 増減率	傾向
関電工	616,143	9.3%	34,693	15.6%	35,565	15.5%	22,515	14.3%	増収増益
きんでん	585,905	12.4%	45,026	11.6%	46,727	10.0%	32,500	12.7%	増収増益
コムシスホールディングス	560,882	16.4%	38,953	10.5%	40,064	11.1%	25,994	-7.2%	増収減益
協和エクシオ	524,574	23.8%	31,100	-1.9%	30,669	-8.3%	15,603	-61.2%	増収減益
九電工	428,939	5.1%	36,022	-2.0%	38,643	-3.2%	26,245	-1.7%	増収減益
トーエネック	224,843	2.7%	13,307	20.7%	12,511	23.3%	9,314	39.6%	増収増益
ユアテック	202,760	-0.6%	6,762	-28.0%	7,338	-27.9%	4,470	-32.6%	減収減益
日本電設工業	198,244	8.6%	16,495	11.1%	17,680	11.7%	11,274	14.8%	増収増益
住友電設	172,910	10.1%	13,581	24.0%	14,201	22.8%	9,772	84.7%	増収増益
中電工	168,888	10.2%	8,333	28.5%	11,188	25.4%	4,795	-22.2%	増収減益
合計	3,684,088	11.2%	244,272	7.7%	254,586	6.4%	162,482	-8.7%	増収減益

【図表9 電気設備工事業主要10社の2021年3月期（連結）の業績予想】

企業名	2021年3月期の業績予想					
	売上高	前期比	営業利益	前期比	純利益	前期比
関電工	-	-	-	-	-	-
きんでん	-	-	-	-	-	-
コムシスホールディングス	560,000	-0.2%	38,000	-2.4%	25,500	-1.9%
協和エクシオ	525,000	0.1%	32,000	2.9%	21,100	35.2%
九電工	-	-	-	-	-	-
トーエネック	-	-	-	-	-	-
ユアテック	-	-	-	-	-	-
日本電設工業	-	-	-	-	-	-
住友電設	-	-	-	-	-	-
中電工	-	-	-	-	-	-

2021年度3月期決算

<電気設備工事業> 2021年度3月期第1四半期決算概況

■ 6社が減収、うち5社が減収減益ながら、10社合計ではわずかに増収

売上高は6社が前年同期を下回り、このうち5社が減収・純減益となっています（=図表10）。

10社合計を見ると、売上高は前年同期比0.2%増、営業利益が同2.3%減、経常利益が同2.3%増、純利益が同7.6%減となりました。

今期の業績予想は、純利益ベースで6社が減収減益、2社が増収増益、2社が未定となっています。売上高の減少率が二桁のマイナスになっているのは1社だけですが、純利益の減少率はそれより大きく、厳しい経営環境にあると見込まれます。

【図表10 電気設備工事業主要10社の2021年3月期第1四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第1四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	
関電工	120,435	-4.8%	6,676	-4.9%	7,241	-3.3%	4,613	-3.5%	減収減益
きんでん	106,158	-3.6%	3,588	7.0%	4,473	3.6%	2,763	-16.0%	減収減益
協和エクシオ	106,146	15.7%	4,162	4.5%	5,061	31.2%	3,071	31.0%	増収増益
コムシスホールディングス	104,703	-6.4%	3,637	-26.9%	4,182	-24.1%	2,891	-17.6%	減収減益
九電工	79,439	-5.1%	3,862	-17.4%	4,655	-13.8%	3,119	-18.8%	減収減益
トーエネック	49,386	5.7%	2,539	18.1%	2,339	19.2%	1,496	-36.6%	増収減益
中電工	38,029	17.5%	913	-	1,692	138.2%	1,013	36.6%	増収増益
ユアテック	36,329	-6.1%	-1,038	-	-887	-	-860	-	減収赤字幅縮小
住友電設	33,029	-3.8%	2,051	-30.1%	2,281	-27.3%	1,472	-29.7%	減収減益
日本電設工業	21,354	21.4%	-459	-	41	-	1	-	増収増益
合計	695,008	0.2%	25,931	-2.3%	31,078	2.3%	19,579	-7.6%	増収減益

<電気設備工事業> 2021年度3月期第2四半期決算概況

■ 7社が減収、6社が減収減益、10社合計でも減収減益となるも利益面ではわずかに改善

売上高は7社が前年同四半期を下回り、6社が減収減益となっています（=図表11）。

10社合計では、売上高は前年同四半期比3.2%減（第1四半期は0.2%増）、純利益が同5.0%減（第1四半期は7.6%減）と減収減益となりましたが、利益面ではやや改善されています。

2021年3月期の通期業績予想は中電工が純利益を上方修正しています。

【図表11 電気設備工事業主要10社の2021年3月期第2四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第2四半期								
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	傾向
関電工	253,813	-9.0%	13,448	-11.8%	14,064	-10.8%	8,837	-11.1%	減収減益
きんでん	241,943	-3.8%	13,496	2.5%	14,251	0.5%	9,662	-5.5%	減収減益
コムシスホールディングス	234,262	-3.6%	12,402	-4.3%	12,934	-5.1%	8,934	0.9%	減収増益
協和エクシオ	224,865	5.9%	11,202	4.0%	12,239	14.8%	7,454	18.8%	増収増益
九電工	180,101	-8.1%	11,244	-18.6%	12,533	-17.4%	8,286	-20.9%	減収減益
トーエネック	102,527	-0.3%	6,593	20.5%	6,217	24.2%	4,115	-5.6%	減収減益
中電工	82,082	9.3%	3,269	24.8%	4,467	16.5%	2,957	0.3%	増収増益
ユアテック	81,150	-10.1%	5	-98.9%	249	-68.5%	-130	-	減収減益
住友電設	70,759	-7.6%	5,334	-16.6%	5,660	-15.9%	3,721	-16.1%	減収減益
日本電設工業	59,067	7.1%	2,724	68.0%	3,305	56.6%	1,915	87.4%	増収増益
合計	1,530,569	-3.2%	79,717	-3.5%	85,919	-2.2%	55,751	-5.0%	減収減益

<電気設備工事業> 2021年度3月期第3四半期決算概況

■ 10社合計では純利益が前年同四半期比7.7%増となり利益面での改善が進む

売上高は7社が前年同四半期を下回ったが減収減益は3社のみであり、利益面では改善されています（=図表12）。

10社合計でも、売上高は前年同四半期比▲2.2%（第2四半期は▲3.2%）でしたが、純利益は同7.7%増（同▲5.0%）と増益に転じており、収益性の改善が進んでいます。

2021年3月期の通期業績予想についても、きんでん、協和エクシオ、中電工が売上、純利益ともに上方修正しており、改善傾向であることがわかります。

【図表12 電気設備工事業主要10社の2021年3月期第3四半期決算（連結）の実績】

企業名	2021年3月期第3四半期								傾向
	売上高 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	営業利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	経常利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	純利益 (百万円)	前年 同四半期比 増減率	
関電工	389,903	-8.9%	20,304	-7.2%	21,231	-6.5%	13,551	-6.3%	減収減益
コムシスホールディングス	370,817	-1.1%	22,624	6.9%	23,832	7.3%	16,786	16.1%	減収増益
きんでん	370,664	-3.4%	24,713	-0.5%	25,883	-3.4%	19,340	1.9%	減収増益
協和エクシオ	348,123	4.3%	18,798	7.0%	20,213	12.6%	12,575	16.0%	増収増益
九電工	266,597	-4.7%	18,898	0.7%	20,940	-0.6%	13,845	-3.3%	減収減益
トーエネック	153,989	-1.4%	10,408	30.1%	9,928	34.8%	6,626	12.7%	減収増益
ユアテック	132,056	-4.2%	2,382	36.3%	2,715	21.5%	1,538	53.7%	減収増益
中電工	124,834	12.1%	5,791	59.1%	7,621	38.3%	5,455	150.7%	増収増益
住友電設	107,740	-9.3%	7,397	-20.1%	7,912	-19.0%	5,129	-19.4%	減収減益
日本電設工業	97,163	5.8%	5,821	16.3%	6,690	13.9%	4,137	21.3%	増収増益
合計	2,361,886	-2.2%	137,136	4.0%	146,965	3.9%	98,982	7.7%	減収増益

<電気設備工事業> 2021年度3月期決算概況

■ 10社合計で売上高1.4%減、純利益11.7%増、通信設備工事業大手3社が好調

2021年3月期の決算は通信設備工事業の協和エクシオ、コムシスホールディングス、ミライトホールディングスの3社が第5世代基地局の特需を背景に増収増益となりましたが、電気設備工事業のきんでん、関電工、九電工、トーエネックの大手4社は新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による民間設備投資の減少等を背景に減収減益となり、明暗が分かれました（=図表13）。10社合計では、売上高は前期比1.4%減、営業利益は同3.7%増、経常利益は同4.3%増、純利益は同11.7%増となり、通信設備工事業の好調が貢献して全体としては堅調な決算結果となっています。

【図表13 電気設備工事業主要10社の2021年3月期（連結）の実績】

企業名	2021年3月期								
	売上高 (百万円)	前期比 増減率	営業利益 (百万円)	前期比 増減率	経常利益 (百万円)	前期比 増減率	純利益 (百万円)	前期比 増減率	傾向
協和エクシオ	573,339	9.3%	36,623	17.8%	38,186	24.5%	24,192	55.0%	増収増益
コムシスホールディングス	563,252	0.4%	41,572	6.7%	42,941	7.2%	29,369	13.0%	増収増益
きんでん	556,273	-5.1%	42,948	-4.6%	44,794	-4.1%	32,356	-0.4%	減収減益
関電工	556,045	-9.8%	30,041	-13.4%	31,043	-12.7%	20,147	-10.5%	減収減益
ミライトホールディングス	463,744	5.1%	30,129	37.0%	31,739	36.8%	24,205	59.0%	増収増益
九電工	391,901	-8.6%	32,998	-8.4%	35,906	-7.1%	25,042	-4.6%	減収減益
トーエネック	215,677	-4.1%	15,509	16.5%	13,726	9.7%	8,832	-5.2%	減収減益
ユアテック	197,092	-2.8%	8,484	25.5%	9,172	25.0%	5,763	28.9%	減収増益
日本電設工業	195,695	-1.3%	14,188	-14.0%	15,390	-13.0%	9,546	-15.3%	減収減益
中電工	184,482	9.2%	9,482	13.8%	11,899	6.4%	8,119	69.3%	増収増益
合計	3,897,500	-1.4%	261,974	3.7%	274,796	4.3%	187,571	11.7%	減収増益

■ 10社合計で売上高予想は0.3%減と堅調だが、純利益は8.8%減と減益予想

2022年3月期の業績予想はコムシスホールディングス、ミライトホールディングスの通信設備工事業2社が増収のほか、九電工、トーエネック、ユアテック、中電工の電気設備工事業4社も増収としており、10社合計で売上高は前期比0.3%減と微減にとどまると予想されています（=図表14）。一方、営業利益は同4.9%減、経常利益は同5.5%減、純利益は同8.8%減と、厳しい市場環境の中での価格競争激化等を背景に利益率は低下するとの見方がされています。

【図表14 電気設備工事業主要10社の2022年3月期（連結）の業績予想】

企業名	2022年3月期の業績予想							
	売上高 (百万円)	前期比 増減率	営業利益 (百万円)	前期比 増減率	経常利益 (百万円)	前期比 増減率	純利益 (百万円)	前期比 増減率
協和エクシオ	560,000	-2.3%	37,000	1.0%	37,800	-1.0%	24,100	-0.4%
コムシスホールディングス	580,000	3.0%	43,000	3.4%	43,500	1.3%	29,000	-1.3%
きんでん	548,000	-1.5%	36,600	-14.8%	38,700	-13.6%	26,300	-18.7%
関電工	521,000	-6.3%	30,300	0.9%	31,300	0.8%	20,400	1.3%
ミライトホールディングス	470,000	1.3%	30,500	1.2%	32,000	0.8%	21,000	-13.2%
九電工	410,000	4.6%	35,000	6.1%	37,700	5.0%	25,500	1.8%
トーエネック	224,000	3.9%	12,500	-19.4%	11,000	-19.9%	7,200	-18.5%
ユアテック	220,000	11.6%	8,600	1.4%	9,000	-1.9%	5,600	-2.8%
日本電設工業	166,200	-15.1%	5,900	-58.4%	7,000	-54.5%	4,800	-49.7%
中電工	188,000	1.9%	9,700	2.3%	11,700	-1.7%	7,100	-12.6%
合計	3,887,200	-0.3%	249,100	-4.9%	259,700	-5.5%	171,000	-8.8%

*「収益認識に関する会計基準」などを適用するため業績予想の対前期増減率を公表していない関電工についても単純計算で対前期増減率を記載している

<お問い合わせ先>

ヒューマンリソシア株式会社

「建設HR」編集部 E-mail : hrouken@athuman.com

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25 西新宿プライムスクエア1階

URL : <https://kensetsu-hr.resocia.jp/>